

令和4年4月1日

各位

病理部・病理診断科 診療部長
濱崎 慎
病理部・病理診断科 技師長
松本慎二

院外病理解剖受託における新型コロナウイルス PCR 検査について

新型コロナウイルス感染症の世界的流行が続いています。この感染症の特徴として、症状のない人から他の人に感染を起こす可能性があることや、症状が軽い場合は風邪などの気道感染症との区別が臨床的に難しいことがあげられます。

また、不幸にしてお亡くなりになった患者さんにおいて、新型コロナウイルス感染症を疑う症状がなかったにも関わらず、PCR 検査が陽性だった事例が報告されています。感染に気付かずに病理解剖を行った場合、病理解剖に携わる病理医や技師が新型コロナウイルスに感染する危険性があることが、日本病理学会より示されています。従いまして、当院におきましては当面の間、学会の指針に基づき新型コロナウイルス感染症による症状の有無にかかわらず、原則として病理解剖の直前に PCR 検査を行い、陰性が確認された症例のみ病理解剖を行う運用としております。

(病理解剖実施時に、PCR 検査陰性を証明する検査報告書の提出が必須となります。)

万一、PCR 検査で新型コロナウイルスが陽性と判明した場合には、病理解剖は中止とさせていただきます。

尚、PCR 検査につきましては、当院では行いませんので、貴院にて実施して頂きますようお願い致します。